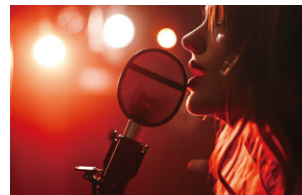




多様性が生み出した 「アメリカ音楽」の魅力



「ポップ・ミュージック」

長い歴史のなかで劇的な変化をとげてきた「アメリカのロック」は、さまざまなジャンルと世界的な人気アーティストたちを生み出してきました。

🇺🇸 ロックンロールから派生した「ポップ・ミュージック」

ロックンロールから派生したロックは、エレキギターを中心としたサウンドであり、反体制的要素を含んだものが多い音楽でした。同じくロックンロールから生まれ、さまざまなジャンルの音楽に影響を受けたポップ・ミュージックは、親しみやすいメロディと歌詞を重視し、世代や人種を超えた多くの人々の共感を呼ぶ音楽といえます。日本ではポップスと呼ばれていますが、それは日本独自の名称です。1980年代には、ミュージックビデオとそれを放映するミュージック・テレビジョン (MTV) が出現し、メガヒットを連発した「マイケル・ジャクソン」や「マドンナ」といった、ポピュラー・ミュージックのカリスマたちが生まれました。CDの登場も音楽の需要を拡大し、その傾向は1990年代になっても続きました。

🇺🇸 世界的なポップスターが次々生まれる2000年代

ポップ・ミュージックの人気は2000年代になるとさらに大きくなり、「アヴリル・ラヴィーン」や「ブリトニー・スピアーズ」などポップ・ミュージックのアーティストが大ヒットを生み出していきます。2010年代にはアメリカの古典的なポピュラー音楽であるカントリー音楽出身の「テイラー・スウィフト」が世界的なポップスターになりました。以降は、YouTubeからブレイクした「ジャスティン・ビーバー」や、シンガーソングライターの「アデル」や「エド・シーラン」、史上最年少でグラミー賞5部門を受賞した「ビリー・アイリッシュ」といった新しい世代が活躍しています。現在のアメリカのポップ・ミュージックは、多様な人種のカルチャーが反映した音楽として、進化を続けています。



ポップ・ミュージックのミュージシャン

マイケル・ジャクソン (1958-2009)

1970年代に「ジャクソン5」の天才リードシンガーとして一世を風靡し、ソロでの活動がメインとなった1980年代に『オフ・ザ・ウォール』『スリラー』『バッド』の三部作で大成功し、ポップ・ミュージックの頂点に立ったキング・オブ・ポップ。全世界での総売上は5億枚を超える、史上最も売れた音楽家の一人です。13のグラミー賞を受賞した、人類史上最も成功したエンターテイナーとして、ギネス世界記録にも認定されています。

テイラー・スウィフト (1989-)

カントリー・ウェスタンのシンガーとして2004年にデビューした「テイラー・スウィフト」は、ペンシルバニア州出身のシンガーソングライターです。2010年代にポップ・ミュージックに移行し、グラミー賞の「年間最優秀アルバム賞」を史上最年少の20歳で受賞し、グラミー賞は以後14回受賞しています。彼女の曲は2023年にスポティファイとアップルミュージックの両方で最も多くストリーミングされ、世界で最も聴かれたポップクイーンとしても知られています。



ポップ・ミュージックの名曲

ライク・ア・ヴァージン

マドンナの2ndアルバム『ライク・ア・ヴァージン』の先行シングルとしてリリースされ、世界的に大ヒットした曲です。1984年9月14日の第1回MTV Video Music Awardsで初披露され、パフォーマンス中にハイヒールが壊れたため、止むを得ずステージに寝そべって歌ったことが話題となりました。Billboard Hot 100で自身初の1位及び6週連続1位を記録し、アメリカ議会図書館の永久保存録音物として全米録音資料登録簿へ登録されています。

クレイジー・イン・ラヴ

2003年にリリースされた『クレイジー・イン・ラヴ』は、CDトータルセールスが全世界で1億3000枚以上という歌姫「ビヨンセ」と、ヒップホップ・ラッパー「ジェイ・Z」との共演楽曲です。ビヨンセのソロ・デビュー・アルバム『デンジャラスリィ・イン・ラヴ』の先行シングルとしてリリースされ、8週連続ビルボード・ホット100で1位を記録しました。イギリスのナショナルチャートでも首位を獲得し、その他の国でもトップ10入りした大ヒット曲です。



ブルーノ・マーズと日本

グラミー賞を17回受賞、ギネス世界記録を2つ獲得しているシンガーソングライター「ブルーノ・マーズ」は、2024年1月に、海外アーティストとしては約30年ぶりとなる東京ドーム7連続公演を果たしました。大の日本好きとしても知られているブルーノは、自身のSNSやインタビュー記事でも、日本のカルチャーや食べ物が好き、日本のファンが自分の曲を歌ってくれるのを見るのが好きと話しています。東京ドーム公演の際には、飲食店やゲームセンターなどに出没しては出会う人々と交流を図り、持ち前のサービス精神を大いに発揮しています。

